

## 第52回 東北農業経済学会・青森大会のご案内

標記大会についてご案内申し上げます。第52回大会は青森県において開催されることになりました。会員各位の積極的なご参加をお待ちしております。

=====  
日 時 2016年8月25日(木) 編集委員会、学会賞選考委員会、役員会  
8月26日(金) 大会シンポジウム、総会、懇親会  
8月27日(土) 個別報告  
=====

◆大会シンポジウムテーマ： 「TPP大筋合意と農業者・消費者の対応」

会 場 弘前大学・農学生命科学部 402講義室  
=====

◆大会実行委員会

委員長：泉谷 眞実(弘前大学) 事務局長：石塚 哉史(弘前大学)  
=====

◆プログラム

第1日 2016年8月26日(金) 大会シンポジウム、総会

会場：弘前大学・農学生命科学部 402講義室

- |           |            |
|-----------|------------|
| ○受付       | 8:15～      |
| ○開会・会長挨拶  | 9:15～9:20  |
| ○来賓挨拶     | 9:20～9:25  |
| ○大会シンポジウム | 9:30～16:00 |

大会シンポジウム「TPP大筋合意と農業者・消費者の対応」について

TPP大筋合意についての評価は様々です。日本農業新聞が昨年11月から12月上旬にかけて全国のJA組合長を対象に行ったアンケート結果では、「TPP交渉の大筋合意で政府は、重要品目の再生産を確保する国会決議を守ったと説明しています。どう思いますか。」に対し①国会決議はぎりぎり守れた1.7%、②国会決議は守られていない91.6%、③どちらともいえない6.3%などと、圧倒的多数のJA組合長が国会決議は守られていないとしています。

他方政府はTPP大筋合意について重要5品目の関税が全廃とならなかったのが国会決議は守ったと主張しています。しかもTPPは「日本経済が力強く成長していく基礎となる。成長戦略の切り札としていく」と意義を強調しています。またTPP大筋合意による農業への影響についても政府試算と各地方自治体または研究者の間には大きな違いがあります。

そのような中で政府は経営感覚に優れた農業の担い手育成を柱に、TPP対応として農地の集約化、コメの備蓄拡充、畜産の所得補填、産地パワーアップ事業、そして農林水産物の輸出促進等の対策を早々に打ち出してきました。高品質の日本産農畜産物を持ってす

れば、海外からの輸入品に負けることはない、輸出増加も可能、そのためにも担い手の育成が急務と考えているようです。当然これらの施策に対しても賛否両論が渦巻いています。

本シンポジウムで TPP 大筋合意の内容を全面的に取り上げるには、情報が少ない上に、政府の守秘義務を盾にとった対応により十分な分析が出来ない状況にあります。そこでシンポジウムでは大筋合意の内容を確認した上で、対策の柱となっている事項について農業関係者あるいは消費者などが自分たちの経営や活動の中でどのように評価し、どのような対応策を考えているのかを明らかにし、迂回的方法ではありますが、TPP の意義や課題を考えていきます。

そのために次のような報告テーマを設定しました。TPP 大筋合意について北海道大学の東山氏に解説してもらいます。それを受けて実践者からの報告とそれに対し研究者からコメントしてもらおう形ですすすめます。

座長 鵜川 洋樹（秋田県立大学）、石塚 哉史（弘前大学）

報告 1	TPP 大筋合意の諸問題	報告	北海道大学 東山 寛氏
報告 2	集落営農の実態と今後の展開	報告	秋田県雄物川町樽見内営農組合
		コメント	秋田県立大学 中村 勝則氏
報告 3	飼料米の実態と課題	報告	青森県五所川原市豊心ファーム
		コメント	弘前大学 吉仲 怜氏
報告 4	消費者から見た TPP 合意と対応	報告	みやぎ生協 斎藤 清治氏
		コメント	東北大学 冬木 勝仁氏
報告 5	りんご産地での国際化対応と課題	報告	弘前市役所
		コメント	弘前大学 成田 拓未氏

#### 総合討論

- 学会総会 16:00～17:00
- 懇親会（会場：弘前大学生協 スコララム） 18:00～20:00

第 2 日 2016 年 8 月 27 日（土） 個別報告

会場：弘前大学・農学生命科学部 各講義室

- 個別報告（会場：4 会場） 9:00～12:30（予定）  
報告 20 分＋質疑 5 分（報告者数により変更あり）

閉会

◆大会に関する各種申し込み等について

1. 大会参加の申し込み

会場や資料準備の都合上、8月3日(水)までに、別紙申込用紙をファックスにてお知らせ下さるか、もしくは必要事項を記載したEメールにてお申し込み下さい(申し込み先は次頁)。なお、大会参加は当日も受け付けます。

シンポジウム参加費(報告要旨集代)は2,000円、懇親会参加費は4,000円(院生・学生は2,000円)を予定しております。代金は当日、会場受付にて承ります。

2. 個別報告の申し込み

大会第2日(8月27日)9:00～、個別報告を行います。次の要領で募集致しますので、ふるってご応募下さるようお願い申し上げます。

なお、個別報告は、報告時間20分、質疑5分を予定しております(報告者数により変更あり)。個別報告プログラムを8月初旬に学会ホームページ(<http://aestohoku.jimdo.com/>)に掲載しますのでご確認ください。

(1) 申し込み方法

別紙申込用紙の「2. 個別報告申し込み」に必要事項をご記入の上、7月1日(金)までにファックス、または必要事項を記載したEメールにてお申し込み下さい(申し込み先は次頁)。

(2) 報告要旨の作成要領

個別報告を申し込まれた方は、下記要領で報告要旨を作成してください。要旨集は原則として提出原稿がそのまま原版となるオフセット印刷にて作成されますのでご注意ください。

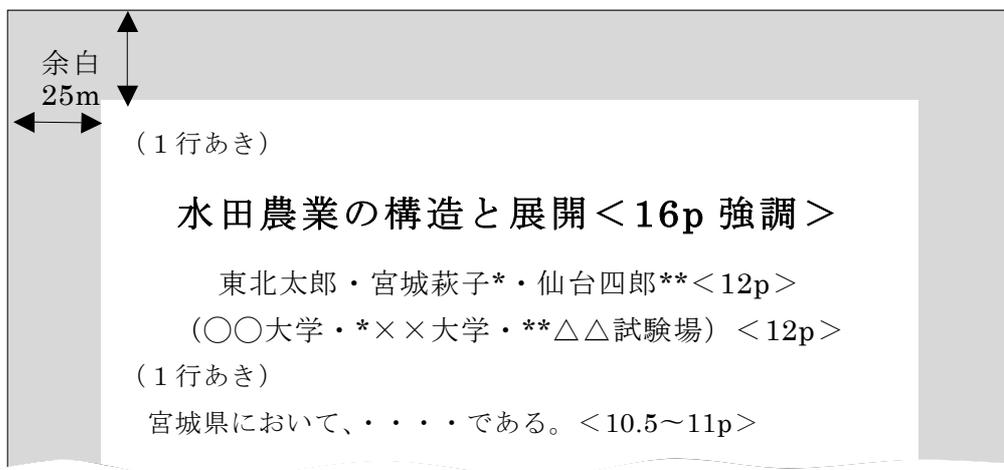
- ① A4サイズ1枚、横書き、モノクロ、余白(マージン)は上下左右25mm
- ② フォントは和文MS明朝、英字century。10.5～11ポイント。42字×36行に設定
- ③ タイトル16ポイント、強調(ボールド)、氏名と所属機関 12ポイント

※イメージは次のようになります。ご参考にしてください。

<A4用紙1枚、横書き、モノクロ>

(3) 報告要旨の提出

7月27日(水)までに、MSワード、一太郎、リッチテキストいずれかのファイルを、①CD-ROMで郵送、または



②添付ファイルでEメール送付して下さい(申し込み先は次頁)。なお、提出の際には、氏名、所属、連絡先(住所、電話番号、Eメールアドレス)も併せてお知らせ下さい。

#### (4) その他

①パワーポイントでの報告を希望される方は、大会第1日（8月26日、個別報告前日）に大会受付付近に用意してあるパソコンの指定フォルダにファイルをコピーして下さい。

②配布資料は40部ご用意下さい（会場ではコピーできませんのでご注意下さい）。

#### 大会参加および個別報告の申し込み・お問い合わせ先

	締め切り	申し込み、お問い合わせ先
大会参加申し込み	8月3日（水）	〒036-8561 弘前市文京町3 弘前大学 農学生命科学部 石塚 哉史 宛 TEL&FAX : 0172-39-3827 Email : s-ishi@hirosaki-u.ac.jp
個別報告エントリー	7月1日（金）	
個別報告要旨提出	7月27日（水）	

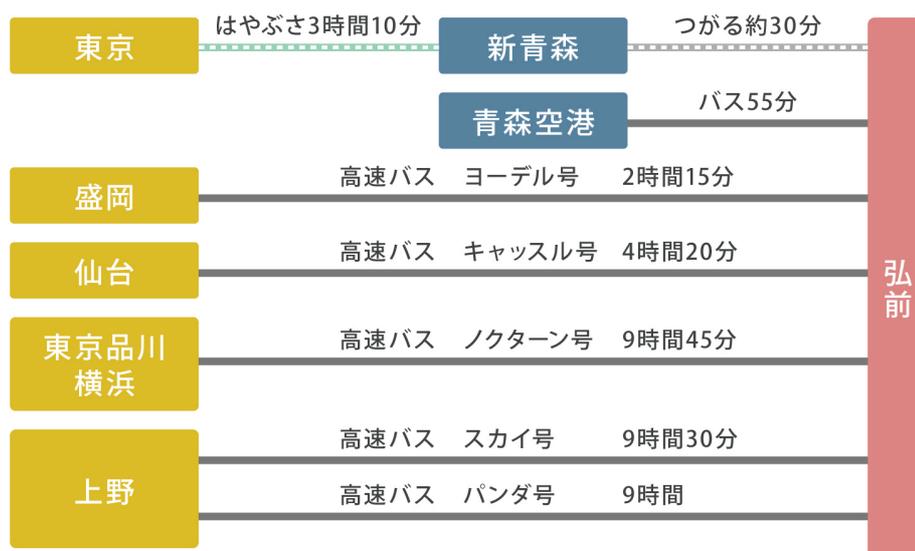
◆宿泊先の手配は各自でお願いします。

ホテル等の宿泊先の手配につきましては、余裕を持って行っていただきますようお願い致します。なお、弘前大学キャンパス周辺につきましては、宿泊施設はほとんどございません。弘前駅周辺をおすすめいたします。

◆会場へのアクセスマップ

弘前大学農学生命科学部 所在地 〒036-8561 青森県弘前市文京町3

#### 弘前駅までのアクセス



#### 文京町地区へのアクセス

## J R 弘前駅から

- ・徒歩の場合（約20分）
- ・タクシーを利用する場合（約5分）
- ・バスを利用する場合（約15分）

JR弘前駅前（中央口）【3番のりば】

「小栗山・狼森線」または「学園町線」に乗車、  
【弘前大学前】または【弘大農学生命科学部前】で下車

## 弘前バスターミナルから

- ・徒歩の場合（約20分）
- ・タクシーを利用する場合（約5分）
- ・バスを利用する場合（約15分）

【バスターミナル前のりば】

「小栗山・狼森線」または「学園町線」に乗車、  
【弘前大学前】または【弘大農学生命科学部前】で下車

## 弘南鉄道

- ・弘高下駅で下車し、徒歩の場合（約5分）
- ・弘前学院大前駅で下車し、徒歩の場合（約7分）

## 駐車場

構内には十分な駐車スペースがございませんので、来学の方はなるべく公共交通機関等をご利用下さい。

やむを得ない事情により、自動車にて来学される方は、正門「案内所（守衛室）」にて手続きを行って下さい。



=====<大会参加・個別報告申込みFAX用紙>=====

送信先FAX番号 0172-39-3827

弘前大学 石塚 哉史 あて

※Eメールで申し込む場合は、下記の事項をテキスト入力して送付してください。  
(送付先 s-ishi@hirosaki-u.ac.jp )

氏 名 : \_\_\_\_\_

所 属 : \_\_\_\_\_

電 話 : \_\_\_\_\_

Eメールアドレス : \_\_\_\_\_

1. 大会参加希望の有無 (いずれかに○印)

1) 大会シンポジウム・・・ 参加 ・ 不参加

2) 懇親会・・・・・・・・・・ 参加 ・ 不参加

3) 個別報告・・・・・・・・・・ 参加 (報告: する・しない) ・ 不参加  
↳ 2. へ

2. 個別報告申込み

1) 報告テーマ \_\_\_\_\_

2) パワーポイントの使用・・・ する ・ しない (いずれかに○印)